



ほっと  
いっぷく

## 平泉寺こぼれ話 ～第36話～ 平泉寺からの出土品です。 これは何に使われたもの？

### ヒント

- ①. 角を逆さにした形をしており、長さは 15 cm、口の径は 5 cm ほどに復元できます。
- ②. 横に穴が空いています。
- ③. 中国で焼かれた青磁の焼き物です。
- ④. 室町時代のものと考えられます。 答えは最下段↓

えちぜんぜんじょうどうたんぼうき

## 越前禅定道探訪記 その19

### ひのきのやど さしお 檜 宿～指尾

相撲の馬場から少し登ると、檜の大木が何本も生えた所を通過する。このあたりは「檜宿」と呼ばれる社が大木の根元にあったとされるが、それがどこなのかは確認することができない。この檜宿は「白山十二宿」の内の第 10 宿にあたる。

### 指 尾

檜宿を過ぎると指尾のピークにでる。標高は 1,418 m で、白山の御前峰がよくみえる。

『白山紀行』には左手に「一の鳥居」があり、白山三山を望む伏拝とされている。

ここから痩せた尾根をしばらく登ると、  
かみそり  
剃刀岩に至る。



檜の大木



指尾のピーク



指尾のピークにある石造物

こぼれ話の答え：角の形をした壁掛け用の花生けです。

( 4 )

国史跡平泉寺の整備情報誌

# 平泉寺かわら版

No. 46 (2012年7月号)

【発 行】 勝山市教育委員会 史蹟整備課  
【発行日】 平成24年7月26日  
【ご意見・ご要望は下記まで】  
電 話: 0779-89-8113(直通)  
メー ル: shisaki@city.katoziyama.lg.jp

## 今号の内容【特集】 苔の宮 白山神社境内

【連載】 平泉寺こぼれ話 第36話

越前禅定道探訪記 その19



← 平泉寺で見つけた蓮の花

平泉寺白山神社御手洗池の石段

# めざそう！世界遺産 白山平泉寺サポーターズクラブ 7月8日に市民が中心となり設立！

この度、平泉寺を愛する市民の方が中心となり、「めざそう！世界遺産 白山平泉寺サポーターズクラブ」が立ち上がりました。代表は地元の松本知子さん。現在、会員は約50名となっており、年会費500円を納めれば、誰でも会員になれます。

この会は、白山国立公園や国史跡に代表される平泉寺の自然遺産や歴史遺産のすばらしさを多くの人に知ってもらうために設立されました。キッズからシルバーまで世代を超え、楽しく平泉寺の景観を守る保全活動や、遺産に触れる活動を行う中で、地域の遺産を誇りに思う人や、そのすばらしさに触れる人を増やしていきたいとの考えです。また、会の活動の先には平泉寺の世界遺産登録が現実となるよう、積極的な支援活動を行いたいとしています。

7月15日（日）には、初仕事として平泉寺夏の清掃に参加し、地元の方と一緒に汗を流しました。次回は9月2日（日）早朝、観光協会の苔をまもる活動にあわせて活動します（清掃後、簡単な苔の説明会を行います）。

入会の申し込みは、松本知子さんまで ☎ 0779-87-2508



7月15日の夏の清掃に参加

## 特集 苔の宮 白山神社境内

7月15日（日）に行われた平泉寺夏の清掃では、境内が綺麗になりました。苔の緑も、いっそう鮮やかです。



広島大学の先生方が中心となって行った、平泉寺とその周辺のコケ類の調査では、計220種が確認されています。

そのうち、28種類は、福井県で初めて確認されたものでした。

まさに、平泉寺は日本を代表するコケの宮といえるでしょう。

平泉寺の苔については、2005年に広島大学の出口博則先生や山口富美夫先生が中心となり調査をされています。その成果は2007年に発刊された『福井総合植物園紀要第5号』の中に「平泉寺および周辺地域における蘚苔類フロアの研究」という論文で発表されています。その研究成果をもとに、簡単に平泉寺のコケを紹介しましょう。



平泉寺旧参道 牛岩・馬岩付近



国名勝 旧玄成院庭園



白山神社 拝殿前

平泉寺旧参道では、多くの杉が生えており、その根元にホソバオキナゴケやアラハシラゴケが生育しています。



ホソバオキナゴケ

旧玄成院庭園では、多くの苔が生育していますが、中でもウマスギゴケやヒノキゴケが美しいマットをつくっています。



ウマスギゴケ

拝殿前は、一面コケに覆われています。特にヒノキゴケ、ホソバオキナゴケ、アラハシラガゴケ、ハイゴケが大部分を占めているとのことです。



ヒノキゴケ